

令和4年度

入学者選抜実施要項

自然災害の発生や新型コロナウイルス感染症の発生状況によっては、本要項に記載する試験実施日程、選抜方法等をやむを得ず変更する場合があります。変更する場合は、本学ホームページ等で速やかにお知らせいたしますので、定期的に確認してください。

入試情報サイト（URL）

<https://www.uoeh-u.ac.jp/Exam.html>

産 業 医 科 大 学

医 学 部	・ ・ ・ ・ ・	P 1
産業保健学部	・ ・ ・ ・ ・	P 7

令和4年度 産業医科大学学生募集

○募集人員

学 部・学 科		募 集 人 員		
		合 計	学校推薦型選抜	一般選抜
医 学 部	医 学 科	105名	25名以内	約80名
産業保健学部	看 護 学 科	70名	35名以内	(A方式) 約30名 (B方式) 約 5名
	産 業 衛 生 学 科	20名	5名以内	(A方式) 約12名 (B方式) 約 3名

※「環境マネジメント学科」は、令和2年4月から「産業衛生科学科」に改称しました。

○学校推薦型選抜の日程

学 部	出願期間 ※	実 施 日	合格者発表
全学部	令和3年11月1日(月) ～11月7日(日)	12月1日(水)	12月10日(金)

※ 出願締切日：消印有効

○一般選抜の日程

(1) 第1次試験(第1次学力検査)

[全学部] 令和4年度大学入学共通テストを利用します。

(2) 第2次試験

【医学部】

学 科	出願期間 ※	第2次学力検査	小論文・面接 受験資格者発表	小論文・面接	合格者発表
医学科	令和4年1月 4日(火) ～1月22日(土)	2月13日(日)	2月25日(金)	3月12日(土)	3月18日(金)

※ 出願締切日：消印有効

【産業保健学部】

学科(方式)		出願期間 ※	第2次試験		合格者発表
看 護 学 科	A方式	令和4年1月 4日(火) ～1月22日(土)	国語・外国語	2月13日(日)	2月25日(金)
	B方式	令和4年1月 4日(火) ～3月 1日(火)	面 接	3月12日(土)	3月18日(金)
産 業 衛 生 科 学 科	A方式	令和4年1月 4日(火) ～1月22日(土)	理科または国語 ・ 外 国 語	2月13日(日)	2月25日(金)
	B方式	令和4年1月 4日(火) ～3月 1日(火)	面 接	3月14日(月)	3月18日(金)

※ 出願締切日：消印有効

○学生募集要項配布

学校推薦型 選 抜	学生募集要項(願書)を無料でお送りします。(令和3年9月配布開始) ご希望の方は、インターネット・テレメール・本学への直接請求、いずれかの方法でお申し込みください。
一般選抜	インターネット出願(令和3年11月テストサイト開始予定)

※今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により、やむを得ず内容を変更する可能性があります。

出願にあたっては、今後発表する募集要項や本学ホームページにより最新の情報を確認してください。

医 学 部

令和4年度入学者選抜における主な変更点

◆学校推薦型選抜
募集人員について、「20名以内」を「 <u>25名以内</u> 」へ変更します。
◆一般選抜
募集人員について、「約85名」を「 <u>約80名</u> 」へ変更します。

令和4年度産業医科大学医学部入学選抜実施要項

〔Ⅰ〕 学校推薦型選抜

1 アドミッション・ポリシー(入学受入方針)

産業医科大学医学部は、産業医学の振興と優れた産業医の養成を目的として設置された我が国唯一の医学部です。

労働環境と健康との関係についての高度な学識を有することが出来るように、標準的な医学教育カリキュラムに加えて、独自の産業医学教育を行い、働く人々の病気の予防と健康の増進に貢献し、健やかに働き豊かに暮らせる社会の実現に寄与できる医師の育成を行っています。

以上の目的を十分に理解し、それを遂行し得る学生を全国から募集します。

医学部の「求める学生像」及び「大学入学までに身につけておくべき教科・科目等」は、次のとおりです。

＜求める学生像＞

- 1 産業医として活躍したいという明確な目的意識を持っている。
- 2 臨床医学のみならず予防医学や健康増進にも深い関心を持っている。
- 3 医師として生涯にわたり自ら物事の本質を考え、探究する意欲を持っている。
- 4 幅広く医学の知識を修得し、発展・応用することができる能力を有している。
- 5 豊かな人間性と高い倫理観を備え、他者との協調性やコミュニケーション能力を有している。

＜大学入学までに身につけておくべき教科・科目等＞

- 1 総合的かつ専門的な医学教育に対応できる高等学校教育科目全般における基本的学力を有している。
- 2 医学知識を学習するための外国語科目の語学力を有している。

2 募集人員 医学部 医学科 25 名以内(学校推薦型選抜および一般選抜を併せて募集人員は105 名)

全国を3ブロックに分け、ブロック毎に下表のとおり選抜します。

ブロック	選抜人員	都 道 府 県
Aブロック	10 名以内	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡
Bブロック	10 名以内	富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
Cブロック	10 名以内	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

3 推薦の対象

次の(1)から(4)までの要件を全て満たした者を対象とします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を令和 4 年 3 月卒業見込みの者および令和 3 年 3 月に卒業した者
- (2) 高等学校長または中等教育学校長(以下「学校長」という。)が、「**将来医師になり、働く人々の病気の予防と健康の増進に貢献する人物**」として責任をもって**専願**で推薦でき、かつ、高等学校または中等教育学校における学習成績、人物および健康等に優れ、調査書の全体の学習成績の状況が**4.3 以上**である者
- (3) 高等学校または中等教育学校において下記の科目を履修した者(履修見込みを含みます。)
 - ① 「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B(数列、ベクトル)」
 - ② 「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」および「生物基礎・生物」のうち 2 科目以上
 - ③ 「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」
- (4) 合格した場合は、入学を確約できる者
(注) 学校長が推薦し得る人員は、1校につき 3 名以内とします。
ただし、3 名全員が令和 4 年 3 月卒業見込みの者の場合は、1 名を追加した 4 名を推薦することが可能です。

※ 前記の履修科目について:その科目および内容について質問がある場合は、必ず事前に本学にご照会ください。(入試事務室 電話 093-691-7295)

4 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、学校長の推薦書、調査書、志望理由書、特別活動記録および本学の実施する小論文・面接の評価を総合して合格者を決定します。

5 出願期間 令和 3 年 11 月 1 日(月)から 11 月 7 日(日)までの間(出願締切日:消印有効)

6 小論文・面接の日程

期 日	教 科 等	時 間
令和 3 年 12 月 1 日(水)	小 論 文	120 分間
	面 接	1 人約 30 分間

7 検査会場 本学

8 合格者発表 令和 3 年 12 月 10 日(金)

9 入学手続期間 令和 3 年 12 月 15 日(水)から 12 月 16 日(木)まで

10 入学検定料 60,000 円

〔Ⅱ〕 一般選抜

1 アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

産業医科大学医学部は、産業医学の振興と優れた産業医の養成を目的として設置された我が国唯一の医学部です。

労働環境と健康との関係についての高度な学識を有することが出来るように、標準的な医学教育カリキュラムに加えて、独自の産業医学教育を行い、働く人々の病気の予防と健康の増進に貢献し、健やかに働き豊かに暮らせる社会の実現に寄与できる医師の育成を行っています。

以上の目的を十分に理解し、それを遂行し得る学生を全国から募集します。

医学部の「求める学生像」及び「大学入学までに身につけておくべき教科・科目等」は、次のとおりです。

<求める学生像>

- 1 産業医として活躍したいという明確な目的意識を持っている。
- 2 臨床医学のみならず予防医学や健康増進にも深い関心を持っている。
- 3 医師として生涯にわたり自ら物事の本質を考え、探究する意欲を持っている。
- 4 幅広く医学の知識を修得し、発展・応用することができる能力を有している。
- 5 豊かな人間性と高い倫理観を備え、他者との協調性やコミュニケーション能力を有している。

<大学入学までに身につけておくべき教科・科目等>

- 1 総合的かつ専門的な医学教育に対応できる高等学校教育科目全般における基本的学力を有している。
- 2 医学知識を学習するための外国語科目の語学力を有している。

2 募集人員 医学部 医学科 約 80 名(学校推薦型選抜および一般選抜を併せて募集人員は 105 名)

3 出願資格

入学を志願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、令和 4 年度大学入学共通テストで、本学が指定する教科・科目を受験した者としてします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和 4 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者および令和 4 年 3 月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者および令和 4 年 3 月 31 日までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和 4 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和 4 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成 17 年文部科学省令第 1 号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧大学入学資格検定に合格した者を含む。)および令和 4 年 3 月 31 日までに合格見込みの者

- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年3月31日までに18歳に達するもの

(注) 上記(8)で出願しようとする者は出願前に個別の入学資格審査を行う必要がありますので、令和3年8月末日までに必要書類を取り揃えて申請してください。

なお、詳細については、直接本学入試事務室へ問合せください。

4 選抜方法等

(1) 第1次試験

令和4年度大学入学共通テストを本学の第1次学力検査として利用します。

(2) 第2次試験

- ① 本学独自の第2次学力検査を行い、その成績と第1次学力検査の成績を併せて小論文・面接受験資格者約400名を決定します。
- ② 上記の資格者に対して、「小論文・面接」を行い、その成績・評価と第1次学力検査および第2次学力検査の成績ならびに調査書等の内容を総合して合格者を決定します。

	第1次試験	第2次試験			合格者発表
	第1次学力検査 (大学入学共通テスト)	第2次学力検査	小論文・面接 受験資格者 発表	小論文 面接	
試験 日程	1月15日(土) 1月16日(日)	2月13日(日)	2月25日(金)	3月12日(土)	3月18日(金)

(3) 2段階選抜

志願者が募集人員の40倍を超えた場合には、第1次試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者に対して第2次試験を行うことがあります。

5 出願期間 令和4年1月4日(火)から1月22日(土)までの間(出願締切日:消印有効)

6 試験教科・科目等

(1) 第1次試験(第1次学力検査)(令和4年度大学入学共通テスト)

教科	科目
国語	『国語』
地理歴史 公民	『世界史B』、『日本史B』、『地理B』、 『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』、『倫理、政治・経済』 } から1科目
数学	『数学I・数学A』および『数学II・数学B』
理科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』 から1科目
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目

(注1) 「地理歴史・公民」については、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を用います。

(注2) 「理科」については、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を用います。

(注3) 「外国語」については、『英語』を選択する受験者は、リーディングとリスニングの両方を解答しなければなりません。

(注4) 指定する教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、第2次試験を受験できません。

(2) 第2次試験(第2次学力検査)

教科	科目	時間
数 学	「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」	100 分間
理 科	「物理」、「化学」、「生物」から2科目	100 分間
外 国 語	「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」	100 分間

(注1) 「数学B」については「数列、ベクトル」とします。

(注2) 理科については、あらかじめ届け出た2科目を選択してください。

(注3) 物理は、「物理基礎」と「物理」を、化学は、「化学基礎」と「化学」を、生物は「生物基礎」と「生物」を併せた範囲から出題します。

(3) 第2次試験(小論文・面接)

教科等	時間
小論文	120 分間
面 接	1人約 20 分間

7 配点

(1) 第1次試験(第1次学力検査)(令和4年度大学入学共通テスト)

	国 語	地・公	数 学	理 科	外国語	合 計
第1次学力検査	60 点	60 点	60 点	60 点	60 点	300 点

※ 『英語』の配点の割合は、60 点中、リーディング(80%)、リスニング(20%)とします。

(2) 第2次試験(第2次学力検査)

	数 学	理 科	外国語	合 計
第2次学力検査	200 点	200 点	200 点	600 点

(3) 第2次試験(小論文・面接)

	配点	評価
小論文	50 点	合否判定の際に重視します。
面 接	—	合否判定の際に重視します。

8 検査会場

第2次試験	
第2次学力検査	小論文・面接
北九州会場(西日本総合展示場) 東京会場(ベルサール汐留)	本 学

※ 東京会場での受験を希望する志願者が試験会場の収容定員を超えた場合は、一部の志願者の試験会場を北九州会場に変更することがあります。

9 合格者発表 令和4年3月18日(金)

10 入学手続期間 令和4年3月23日(水)から3月24日(木)まで
※手続期間は2日間

11 入学検定料 60,000 円

12 その他

- (1) 入学手続締切日において募集人員に満たないときは、追加合格を行います。
- (2) 追加合格によっても募集人員に満たない場合は、第2次募集を実施することがあります。

産業保健学部

令和4年度入学者選抜における主な変更点

【産業保健学部】

◆一般選抜

☐ 産業衛生科学科A方式

*第2次試験における会場について、東京会場を追加します。

[I] 学校推薦型選抜

1 アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

産業医科大学産業保健学部は、働く人々の健康と安全を守るため、看護、作業環境管理、労働安全衛生マネジメント等に関する教育と研究を行っています。本学部の目的は、医療および産業保健分野において、必要な知識、技術およびチームワーク精神を身につけ、豊かな人間的感性および科学的洞察力を備えた人材を育成することです。

以上の目的を十分に理解し、それを遂行し得る学生を全国から募集します。

各学科の「求める学生像」及び「大学入学までに身につけておくべき教科・科目等」は、次のとおりです。

(1) 看護学科

＜求める学生像＞

- ① 本学の設置目的を十分に理解し、それを遂行する情熱を持っている。
- ② 次世代を担う高度な看護職を目指し、人々が健康に働き、生活できる社会を創生することに意欲を持っている。
- ③ 働く人々の心身の健康をサポートし、社会が求める看護師や保健師を目指している。
- ④ 努力を惜しまず、積極的に学ぶ姿勢を持っている。
- ⑤ 自分の考えを適切に表現できる能力を有し、人間愛に徹した幅広い人間性・倫理観・柔軟性と協調性を備え、周囲の人と良好なコミュニケーションをとることができる。

＜大学入学までに身につけておくべき教科・科目等＞

- ① 高等学校教育科目全般における基礎的な知識・技能を有している。特に、入学後の修学に必要な国語・英語を中心に、数学・理科などバランスのとれた基礎学力を有している。
- ② 国語と英語については、正しく読み取ることのできる読解力と基本的な文章力を有している。
- ③ 理科については、看護を科学的に実践できるための基盤となる生物・化学を中心とした基礎知識を有している。

(2) 産業衛生科学科

＜求める学生像＞

- ① 本学の設置目的を十分に理解し、それを遂行する情熱を持っている。
- ② 働く人々の健康と安全を守るために、安全で快適な職場を創りだすことに意欲を持っている。
- ③ 努力を惜しまず、積極的に学ぶ姿勢を持っている。
- ④ 相手を思いやる豊かな人間性・倫理観とコミュニケーション能力を有し、他者と協調し信頼関係を築くとともに、自分で考えて行動できる。

＜大学入学までに身につけておくべき教科・科目等＞

- ① 高等学校教育科目全般における基礎的な知識・技能を有している。特に、入学後の修学に必要な数学・理科を中心に、国語・英語などバランスのとれた基礎学力を有している。
- ② 数学については、基本的な概念や定理を理解し、事象を論理的に考察し数学的に処理する能力を有している。
- ③ 理科については、化学及び、物理あるいは生物を修得し、科学的な思考ができる能力を有している。

2 募集人員

学 科	募集人員
看 護 学 科	35名以内
産 業 衛 生 科 学 科	5名以内

3 推薦の対象

学校長が学業、人物、健康ともに優良と認め、責任をもって**専願**で推薦できる者で、次の要件を全て満たす者とします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を令和4年3月卒業見込みの者および令和3年3月に卒業した者
- (2) 調査書の全体の学習成績の状況が **3.7** 以上である者
- (3) 合格した場合は、入学を確約できる者

(注) 学校長が1校につき推薦し得る人員は、下記のとおりとします。

出 願 資 格	看 護 学 科	産業衛生科学科
令和4年3月卒業見込みの者	4名以内	2名以内
令和3年3月に卒業した者	1名	1名

4 選抜方法

大学入学共通テストを免除し、学校長の推薦書、調査書、志望理由書(特別活動記録を含む)および本学の実施する小論文・面接の評価を総合して合格者を決定します。

5 出願期間

令和3年11月1日(月)から11月7日(日)までの間(出願締切日:消印有効)

6 小論文・面接の期日・場所および時間

期 日 ・ 場 所	教科等	時 間
令和3年12月1日(水) 本 学	小論文※	120分間
	面 接	1人約15分間

※看護学科では、和文および英文の課題について、読解力・思考力・表現力を問う内容となっています。

※産業衛生科学科では、英文の課題について、読解力・思考力・表現力を問う内容、および自然科学を題材とした総合的な文章問題について、論理的思考力や計算力を問う内容となっています(必ずしも物理、化学や生物分野特有の知識を問うものではありません)。

7 合格者発表

令和3年12月10日(金)

8 入学手続期間

令和3年12月15日(水)から12月16日(木)まで

9 入学検定料

30,000円

〔Ⅱ〕 一般選抜

1 アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

産業医科大学産業保健学部は、働く人々の健康と安全を守るため、看護、作業環境管理、労働安全衛生マネジメント等に関する教育と研究を行っています。本学部の目的は、医療および産業保健分野において、必要な知識、技術およびチームワーク精神を身につけ、豊かな人間的感性および科学的洞察力を備えた人材を育成することです。

以上の目的を十分に理解し、それを遂行し得る学生を全国から募集します。

各学科の「求める学生像」及び「大学入学までに身につけておくべき教科・科目等」は、次のとおりです。

(1) 看護学科

＜求める学生像＞

- ① 本学の設置目的を十分に理解し、それを遂行する情熱を持っている。
- ② 次世代を担う高度な看護職を目指し、人々が健康に働き、生活できる社会を創生することに意欲を持っている。
- ③ 働く人々の心身の健康をサポートし、社会が求める看護師や保健師を目指している。
- ④ 努力を惜まず、積極的に学ぶ姿勢を持っている。
- ⑤ 自分の考えを適切に表現できる能力を有し、人間愛に徹した幅広い人間性・倫理観・柔軟性と協調性を備え、周囲の人と良好なコミュニケーションをとることができる。

＜大学入学までに身につけておくべき教科・科目等＞

- ① 高等学校教育科目全般における基礎的な知識・技能を有している。特に、入学後の修学に必要な国語・英語を中心に、数学・理科などバランスのとれた基礎学力を有している。
- ② 国語と英語については、正しく読み取ることのできる読解力と基本的な文章力を有している。
- ③ 理科については、看護を科学的に実践できるための基盤となる生物・化学を中心とした基礎知識を有している。

(2) 産業衛生科学科

＜求める学生像＞

- ① 本学の設置目的を十分に理解し、それを遂行する情熱を持っている。
- ② 働く人々の健康と安全を守るために、安全で快適な職場を創りだすことに意欲を持っている。
- ③ 努力を惜まず、積極的に学ぶ姿勢を持っている。
- ④ 相手を思いやる豊かな人間性・倫理観とコミュニケーション能力を有し、他者と協調し信頼関係を築くとともに、自分で考えて行動できる。

＜大学入学までに身につけておくべき教科・科目等＞

- ① 高等学校教育科目全般における基礎的な知識・技能を有している。特に、入学後の修学に必要な数学・理科を中心に、国語・英語などバランスのとれた基礎学力を有している。
- ② 数学については、基本的な概念や定理を理解し、事象を論理的に考察し数学的に処理する能力を有している。
- ③ 理科については、化学及び、物理あるいは生物を修得し、科学的な思考ができる能力を有している。

2 募集人員

学 科	募集人員	A方式	B方式
看 護 学 科	約35名	約30名	約5名
産 業 衛 生 科 学 科	約15名	約12名	約3名

3 出願資格

入学を志願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、令和4年度大学入学共通テストで、本学部が指定する教科・科目を受験した者としてします。

- (1) 高等学校または中等教育学校を卒業した者および令和4年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和4年3月修了見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および令和4年3月31日までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和4年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和4年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧大学入学資格検定に合格した者を含む。)および令和4年3月31日までに合格見込みの者
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年3月31日までに18歳に達するもの

(注) 上記(8)で出願しようとする者は出願前に個別の入学資格審査を行う必要がありますので、令和3年8月末日までに必要書類を取り揃えて申請してください。

なお、詳細については、直接本学入試事務室へ問合せください。

4 選抜方法

- (1) 第1次試験

令和4年度大学入学共通テストを本学の第1次学力検査として利用します。

- (2) 第2次試験

第1次試験(大学入学共通テスト)の成績、第2次試験の成績および調査書等の内容を総合して合格者を決定します。

学 科(方式)		第1次試験 (大学入学共通テスト)	第2次試験		合格者発表
看護学科	A方式	1月15日(土)	国語、外国語	2月13日(日)	2月25日(金)
	B方式		面 接	3月12日(土)	3月18日(金)
産業衛生 科学科	A方式	1月16日(日)	理科または国語、 外国語	2月13日(日)	2月25日(金)
	B方式		面 接	3月14日(月)	3月18日(金)

5 出願期間

- (1) 看護学科A方式・産業衛生科学科A方式
令和4年1月4日(火)から1月22日(土)までの間(出願締切日:消印有効)
- (2) 看護学科B方式・産業衛生科学科B方式
令和4年1月4日(火)から3月1日(火)までの間(出願締切日:消印有効)

6 試験教科・科目等

(1) 第1次試験(令和4年度大学入学共通テスト)

① 看護学科(4教科4科目) ※A方式・B方式共通

教科	科目
国語	『国語』
数学	『数学Ⅰ・数学A』、『数学Ⅱ・数学B』 から1科目
理科	「物理」、「化学」、「生物」 から1科目
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目

(注1) 「数学」については、2科目を受験している場合は、高得点の科目の得点を用います。

(注2) 「理科」については、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を用います。

(注3) 「外国語」については、『英語』を選択する受験者は、リーディングとリスニングの両方を解答しなければなりません。

(注4) 指定する教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、第2次試験を受験できません。

② 産業衛生科学科A方式(4教科5科目)

教科	科目
国語	『国語』
数学	『数学Ⅰ・数学A』および『数学Ⅱ・数学B』
理科	「物理」、「化学」、「生物」 から1科目
外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 から1科目

(注1) 「理科」については、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を用います。

(注2) 「外国語」については、『英語』を選択する受験者は、リーディングとリスニングの両方を解答しなければなりません。

(注3) 指定する教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、第2次試験を受験できません。

③ 産業衛生科学科B方式(2教科3科目)

教科	科目
数学	『数学Ⅰ・数学A』および『数学Ⅱ・数学B』
理科	「物理」、「化学」、「生物」 から1科目

(注1) 「理科」については、2科目を受験している場合は、第1解答科目の得点を用います。

(注2) 指定する教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、第2次試験を受験できません。

(2) 第2次試験

学科(方式)	教科等	科目	時間
看護学科	A方式	国語	「国語総合」、「国語表現」、「現代文B」 60分間
		外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」 60分間
	B方式	面接	— 1人約15分間
産業衛生科学科	A方式	1教科選択 理科	「物理」、「化学」から1科目選択 60分間
		国語	「国語総合」、「国語表現」、「現代文B」 60分間
		外国語	「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」 60分間
	B方式	面接	— 1人約15分間

※産業衛生科学科A方式の『理科』または『国語』については、いずれか1教科を選択とします。

(注1)「国語」については、古文・漢文は除きます。

(注2)「理科」については、「物理」は「物理基礎」と「物理」を、「化学」は「化学基礎」と「化学」を併せた範囲から出題します。

7 配点

(1) 看護学科

方式	教科	国語	数学	理科	外国語	面接	合計
A	第1次試験	50点	50点	50点	50点	—	200点
	第2次試験	50点	—	—	50点	—	100点
B	第1次試験	150点	100点	100点	150点	—	500点
	第2次試験	—	—	—	—	※	—

(注) 第1次試験の『英語』の配点の割合は、A方式は50点中、リーディング(80%)、リスニング(20%)、B方式は150点中、リーディング(80%)、リスニング(20%)とします。

※ 面接は点数化しませんが、重視します。

(2) 産業衛生科学科

方式	教科	国語	数学	理科	外国語	面接	合計
A	第1次試験	50点	75点	75点	50点	—	250点
	第2次試験	★50点	—	★50点	50点	—	100点
B	第1次試験	—	100点	100点	—	—	200点
	第2次試験	—	—	—	—	※	—

(注) 第1次試験の『英語』の配点の割合は、50点中、リーディング(80%)、リスニング(20%)とします。

★ 第2次試験A方式の『国語』または『理科』は、いずれか1教科を選択とします。

※ 面接は点数化しませんが、重視します。

8 試験会場：

学 科(方 式)		第 2 次 試 験
看 護 学 科	A方式	本 学
	B方式	
産業衛生科学科	A方式	北九州会場(本 学) 東 京 会 場※(産業医科大学 東京事務所)
	B方式	本 学

※ 東京会場での受験を希望する志願者が試験会場の収容定員を超えた場合は、一部の志願者の試験会場を北九州会場に変更することがあります。

9 合格者発表

学 科(方 式)		期 日
看 護 学 科	A方式	令和4年2月25日(金)
	B方式	令和4年3月18日(金)
産業衛生科学科	A方式	令和4年2月25日(金)
	B方式	令和4年3月18日(金)

10 入学手続期間

学 科(方 式)		期 間
看 護 学 科	A方式	令和4年3月 2日(水)から3月 3日(木)まで
	B方式	令和4年3月23日(水)から3月24日(木)まで
産業衛生科学科	A方式	令和4年3月 2日(水)から3月 3日(木)まで
	B方式	令和4年3月23日(水)から3月24日(木)まで

※手続期間は2日間(土、日、祝日を除く)

11 入学検定料 30,000円

12 その他

- (1) 入学手続締切日において募集人員に満たないときは、追加合格を行います。
- (2) 追加合格によっても募集人員に満たない場合は、第2次募集を実施することがあります。
- (3) 本学が必要と認めた者には、面接を2回実施することや、健康上の面接、検査等を行うことがあります。

看護学科で取得可能な国家資格・免許について

所定の単位を取得した場合、次の資格を取得できます。
ただし、保健師国家試験受験資格※の取得課程は、選択履修制となり、定員約18名です。

看護師国家試験受験資格

保健師国家試験受験資格※

【保健師免許取得後申請可能な資格】 養護教諭2種普通免許
第1種衛生管理者

産業衛生科学科で取得できる国家資格について

当学科を卒業した者は、卒業と同時に無試験で次の資格を取得できます。

第2種作業環境測定士

第1種衛生管理者

【参 考】

○「産業保健」

働く人々の健康の保持・増進と疾病の予防を通じて、働く人々の生きがいと労働の生産性の向上に寄与することを目的とします。具体的な活動領域としては、企業等における総括管理、健康管理、作業管理、作業環境管理、労働衛生教育などがあります。

○「産業看護職」(保健師)

産業保健の目的を達成するために、看護学、保健学等の知識を活かし、働く人々が心身ともに安全かつ快適な職業生活が過ごせるよう、健康面から支援していく専門職であり、今後の活躍が広く期待されています。

○「産業衛生科学」

産業保健の目的を達成するための学問領域の一つで、作業管理や作業環境管理との関わりを学ぶ自然科学系の学問のほか、職務や組織との関わりを学ぶ社会科学系の学問を含めた幅広い分野の領域をカバーするこれから益々期待される領域です。

【学校推薦型選抜学生募集要項(願書)請求要領】

『一般選抜』につきましては、インターネット出願となります。

学生募集要項(願書)の請求は、『学校推薦型選抜』のみです。

I 願書代金 無料(送料は本学負担)

II 請求方法

1 大学のホームページから請求

本学ホームページアドレス <https://www.uoeh-u.ac.jp/>

または

本学携帯サイトアドレス <https://www.uoeh-u.ac.jp/>

2 テレメール による請求

下記のいずれかにアクセスのうえ、ガイダンスに従って請求してください。

資料請求番号

学校推薦型選抜 : 366047(医学部)

学校推薦型選抜 : 966827(産業保健学部)

(1) インターネットの場合


<https://telemail.jp/>

QRコード : 右のバーコードを読み取り、アクセスした場合は
資料請求番号の入力は不要です。



(2) 自動音声応答電話の場合

IP電話 050-8601-0101 (24時間受付)

 テレメールに関するお問合せはテレメールカスタマーセンターへ
IP電話 050-8601-0102 (9:30~18:00)

3 本学への郵送による請求

封書により次のとおり請求してください。

- ① 送付する封筒の表に、『志望学部名』を朱書きしてください。
- ② 住所、氏名、郵便番号を明記した返信用あて名紙片(15cm×5cm)を同封してください。
大学で用意した封筒に貼付します。
- ③ 速達での返送をご希望の場合は、上記の他に『速達料金分の切手』も同封してください。

※ 本学への電話での請求は、受付けていません。

請求先 〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

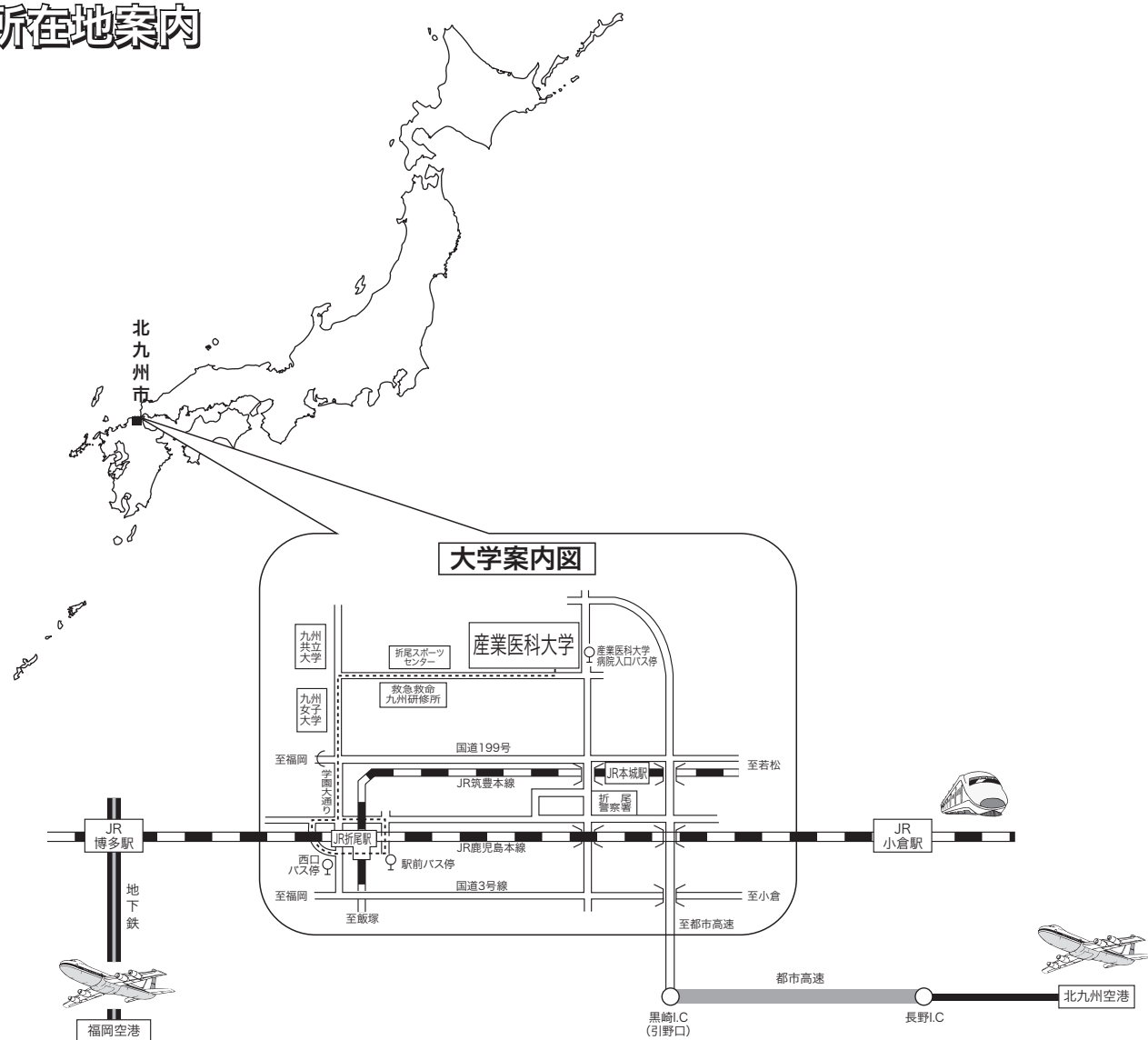
産業医科大学 入試事務室 電話 (093)691-7295 [医学部]

(093)691-7380 [産業保健学部]

III 配付開始日 学校推薦型選抜 : 令和3年9月1日(水)

※【一般選抜インターネット出願テストサイト開設予定 : 令和3年11月】

所在地案内



<北九州空港エアポートバス路線図>



産業医科大学

〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号 TEL 093-603-1611

URL <https://www.uoeh-u.ac.jp/>

東京事務所

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-2 新倉ビル3階 TEL 03-3525-8201

入試に関するご相談、情報については

入試事務室

TEL 093-691-7295(医学部) TEL 093-691-7380(産業保健学部)